

株式会社平和堂 地域共創課

「人の健康」を切り口にした (株)平和堂の取組み



みんなで作ろう!
健康しが

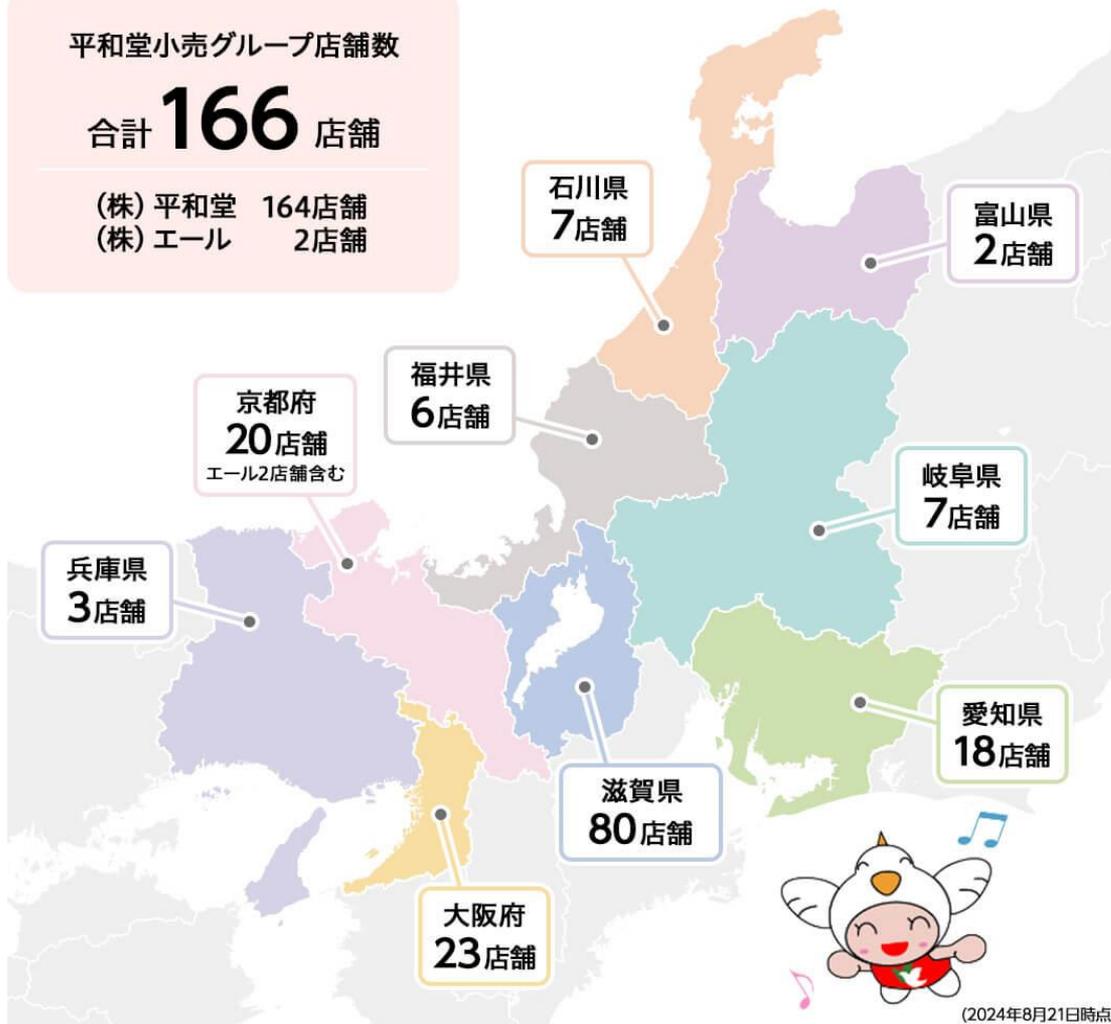
(株)平和堂の店舗展開

confidential

平和堂小売グループ店舗数

合計 **166** 店舗

(株)平和堂 164店舗
(株)エール 2店舗



(2024年8月21日時点)

■ 概要

本社：滋賀県彦根市
創業：1957年3月

■ 従業員数

約21,000人
(2024年2月期)

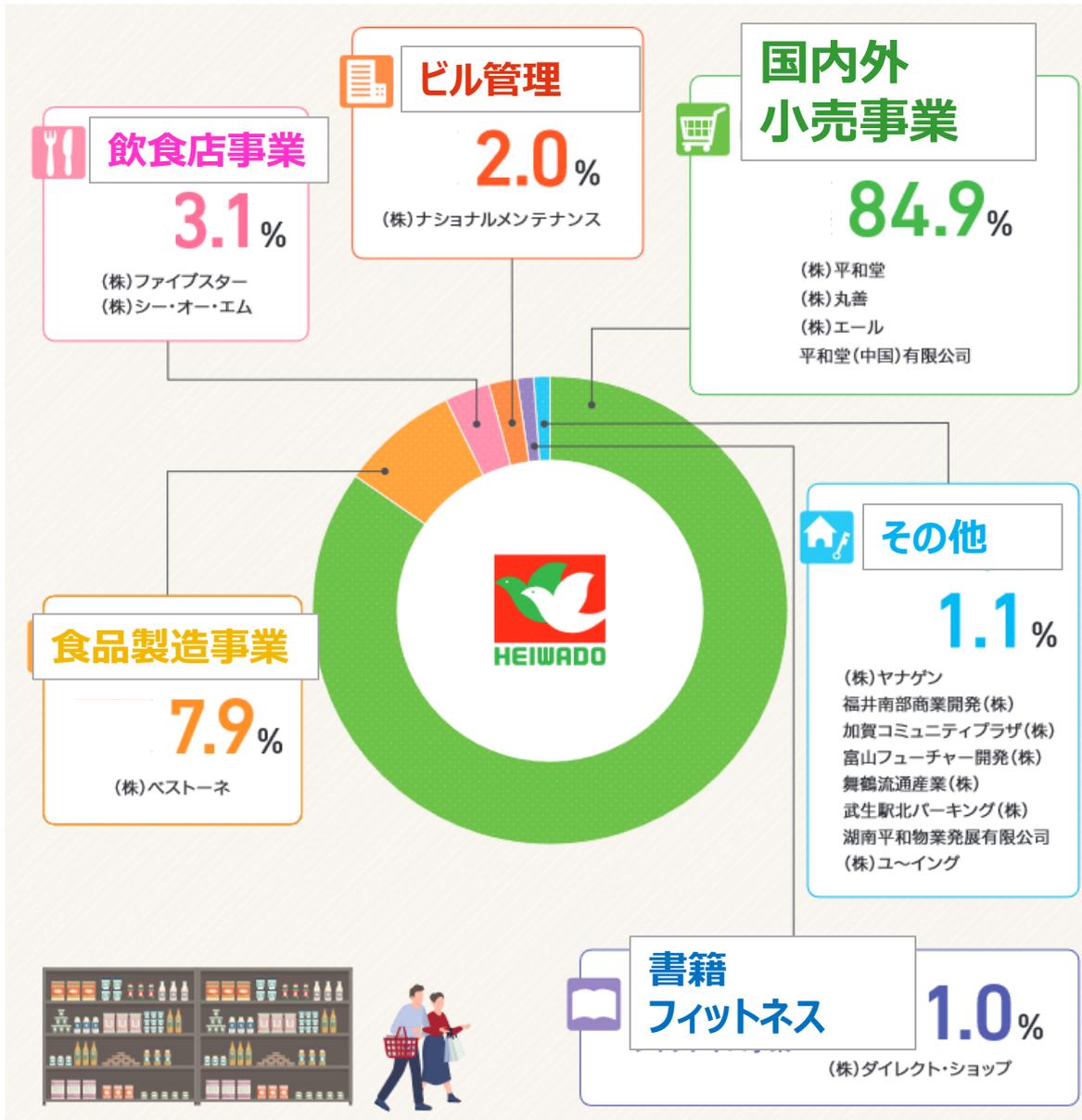
衣住食サービスアミューズ
食品スーパーから大型商業施設

★店舗規模 (商業施設面積)
: 663㎡ (コンビニの4倍) から
65,000㎡
(甲子園球場の1.7倍) まで



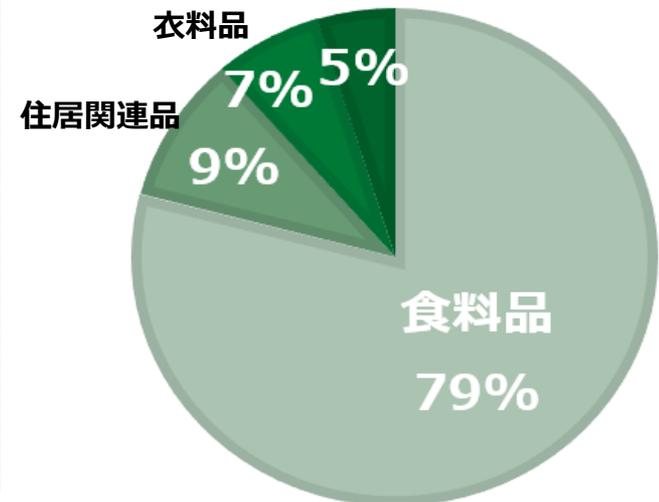
平和堂グループの事業と売り上げ構成比

confidential



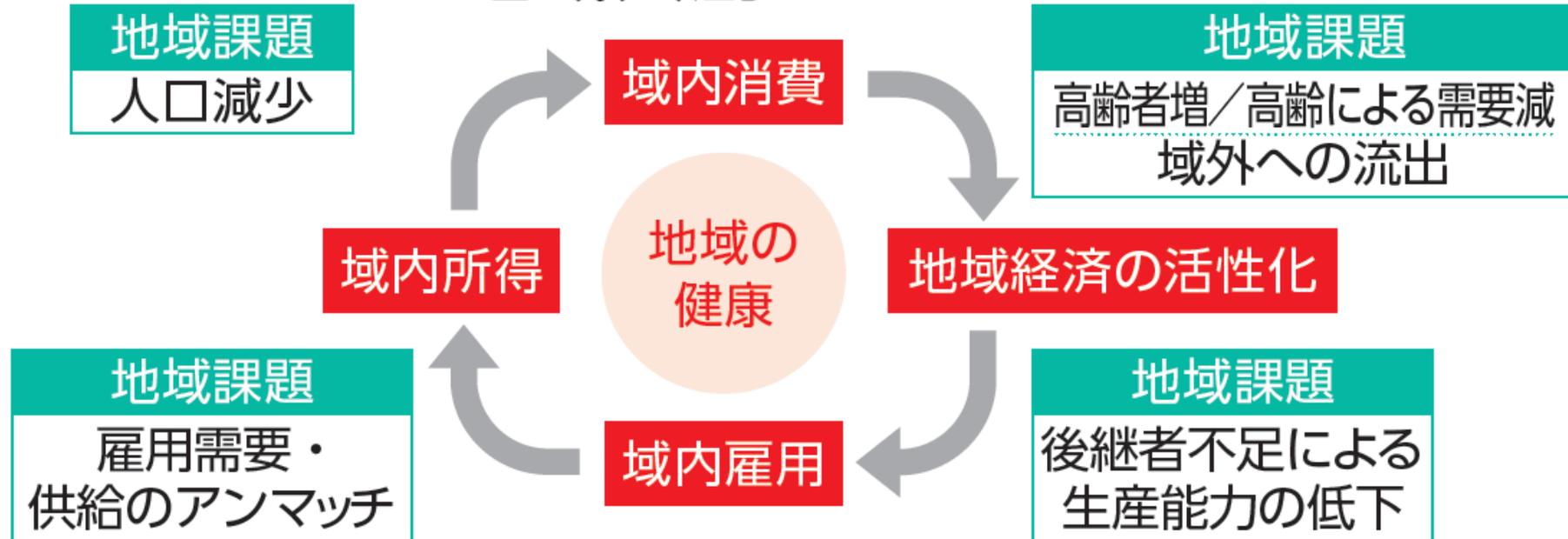
国内小売事業を中心に、飲食、ビル管理、食品製造、アミューズメントなどを展開

- 営業収益（連結）
4,254億円（2024年2月期）
- 子会社16社
- グループの店舗数
約370店舗
- 小売業売上高・構成比
3,775億円（2024年2月期）



地域と共に地域の未来を創る

地域共創ループ



GOAL

地域の健康

※地域経済の循環

How ?

ライフスタイル総合(創造)企業となる

※店舗運営は1つの大きな手段ではあるが全てではない

Key word

共創

※平和堂単独では実現できない

⇒課題と目的を共有し合い、共にゴール達成を目指す

「人の健康」を切り口にした(株)平和堂の取組み

confidential

食の提案

食の成分表示をわかりやすく表示し、健康を意識したお買い物をサポート



店舗機能

平和堂店舗がハブとなり地域・人・情報・店舗を結び付け、課題解決や新たな価値創造に繋げる



店舗外企画

地元プロスポーツチームやスポーツイベント協賛等により健康増進に繋げる



事例紹介①

～店舗共有スペース活用事例～

①店舗共有スペース活用事例

confidential

■ 大津市との取組み

課題：地域の高齢者の健康寿命を延ばすためのサービスが届けにくい
平和堂の強み：地域に密着したスーパーでお客様が集まりやすい



「シニア向け健康トレーニング教室」
・実施店舗：4店舗+福祉センター
・実施期間：R4.10～実施中
・集客人数：10～20人/回
・内容
3か月間で週1回インストラクターと運動し前後の運動能力を測定。固定メンバーで仲間意識の芽生えも。



個人の健康状態や体力レベルに合わせて運動教室です。買い物ついでに、日常生活に取り入れやすいエクササイズを学べます。運動不足になりがちな方でも、無理なく楽しみながらより健康的に毎日を過ごすコツを伝授します。

日常生活をより楽しく健康にシニア向け健康トレーニング教室

日時/12月9日(月)～来年3月13日(木)の毎週1月曜日10時30分～
②火曜日10時30分～③火曜日13時30分～④木曜日10時30分～
⑤木曜日13時30分～ ※12月30日～1月2日除く。祝日含む。全12回。
各回1時間30分

対象/市内在住65歳以上
定員/①10人②3③15人④20人
申し込み/11月1日(金)～11日(月)(土曜・日曜・祝日除く)9時～17時に電話またはLINEで
申し込みはこちら

場所/①アル・プラザ瀬田②アル・プラザ蟹田③平和堂坂本店
④中はびす⑤平和堂石山

問い合わせ先 ☎077-528-2741

<効果>
・「買い物ついで」が市民のニーズとマッチし、例年申込が定員を上回る
・3年目を迎え、これまで**200名超**の65歳以上市民が参加
・参加前後で**体力年齢マイナス7歳(平均)**ほど変わる効果あり、行動変容の良いきっかけ作りとなっている

① 店舗共有スペース活用事例

confidential

■ 長浜市との取り組み

課題：気軽に参加し、楽しみながら健康づくりを体験できる機会を提供したい
平和堂の強み：広いスペースと店舗面積を持ち、拠点として活用できる



- 「健康ステーション事業」(毎月)
「わくわく健康まつり」(年2回)
- ・実施店舗：アル・プラザ長浜他
 - ・実施期間：R3.3～実施中
 - ・集客人数：100～200人/回
 - ・内容

健康づくりに関わるコーナーを月1回置き、測定機器を使って体調や野菜摂取状況等を把握するほか、店内で気軽にウォーキングに取り組める環境づくりを長浜市と協働で実施



<効果>

- ・あらゆる世代の人が日常的に多く訪れる「買い物の場」や、若い世代が集まる子育てイベントとして活用することで、健康意識が高まっている

①店舗共有スペース活用事例

confidential

■東近江市との取組み ※予定

課題：身近な通いの場でのフレイル予防を、市民達自身で実施できる場を作りたい
平和堂の強み：地域交流スペースやホール機能を持ち、拠点として活用できる



地域で行う元気づくりをサポートしてくださる方を募集します。

BIWA-TEKU ポイント対象事業
若返り応援サポーター養成講座 参加者募集

開催日時
11/6(水)13(水)20(水) (全3回)
(1部) 10:00～ または (2部) 14:00～

令和7年1月～開催予定の「マイナス5歳の健康づくり教室」の教室運営をサポートしていただける方を募集します。養成講座を受講し、サポーターとして自身の健康づくりも推進しながら、地域の皆さんに元気のおすそわけをしてみませんか？

サポーターとは 地域で行う健康づくりや介護予防のための取組を応援する人です。毎週のサロン活動や単発活動の場など活躍の場は様々です。令和7年1月から始まる「マイナス5歳の健康づくり教室」の運動補助も役割の一つです。	サポーター養成講座について 養成講座では健康づくりに関する基礎知識や教室運営のサポート方法などを学びます。講座は11月に2時間程度で3日間開催します。午前と午後、同じ内容で実施します。ご都合のよい方に参加ください。	マイナス5歳の健康づくり教室について 普段運動しない人でも、お買い物ついでに気軽に参加できる健康づくり教室です。令和7年1月からショッピングプラザアピアで開催予定です。
--	---	--

対象者 健康推進員、スポーツ推進委員等	料金 無料
定員 20名程度	会場 ショッピングプラザアピア 4階 研修室

この教室は、阪平和堂、関西医科大学、日本ハム株、コガソフトウェア株、東近江市社会福祉協議会、東近江市の共同で開催しています。

《問い合わせ・申し込み先》
東近江市長寿福祉課 【電話】0748-24-5645 【IP】050-5801-5645

「マイナス5歳の健康づくり教室」

- ・実施店舗：ショッピングプラザアピア
- ・実施期間：R7.1～予定
- ・集客人数：20人前後/回
- ・内容
彦根店舗にて実施中のメーカー・大学連携事業を横展開し、市長寿福祉課や社協とも連携し、**参加者や運動サポーターを市民から募集し、3か月間の運動と座学で社会参加と行動変容促す「産官学連携事業」**



＜今後の予定＞

- ・11月からサポーター養成講座開始
- ・同時に市広報誌で教室参加募集
- ・翌年1月から1クール3か月で実施

事例紹介②

～健康イベント等での自治体連携事例～

カゴメ「ベジチェック」について

confidential



カゴメ様が提供する、手の平をセンサーに約30秒押しあてるだけで、簡単に推定野菜摂取量を測定できる機器。

平和堂はレシピ提供コーナー等に常設する他、健康イベント会場等に設置し、食習慣改善のきっかけ作りをサポート

※常設：県内7店舗



②ベジチェックを活用した自治体連携事例

confidential

■草津市

草津市・(株)平和堂協働事業

2023年度下期
「ベジチェック・チャレンジ」

参加費 無料

推定野菜摂取量測定会
(同時開催) 血圧測定/健康相談会
を開催します

「カゴメ ベジチェック®」はセンサーに手を当てて数十秒で簡単に測定が完了。推定野菜摂取量と野菜摂取レベルを測ることができます。

ベジチェック・チャレンジ
に参加して、**健康とHOPポイント**をGET!!

期間中、様々な会場で開催される「推定野菜摂取量測定会」に3回以上参加し、最も高い数値の上位50名様に賞品プレゼント!!



- ・「ベジチェック・チャレンジ」と題して、市内6店舗にて月3回定期開催
- ・**地区担当保健師も常駐**し、気軽に相談を行える場所作りに
- ・市の大型イベントにも参加し、啓発と事業PRにも取り組む
- ・昨年はピーター参加で測定結果の上位成績者にインセンティブ付与、既に健康意識高い人に付与が集中

■守山市

モニター対象者/



- ・ 守山市在住 30歳～59歳
- ・ 2回以上の野菜摂取量測定会参加とアンケート回答
- ・ HOPポイント番号の提供
(アンケート・購買データ分析に同意いただける方)

モニター参加への御礼として HOPポイント進呈!!

1回目 2回目 3回目
50P進呈 100P進呈 150P進呈

<モニターキャンペーンの注意事項>

- ・ HOPカード情報に登録されている「住所」「生年月日」をモニター条件と照らし合わせ、満たした場合のみ付与します。
- ・ ポイント付与はお一人様一回のみ、期間中は回数限りです。
- ・ 2回目以降のポイント付与には、1回目にお渡しする「キャンペーンカード」が必要です。ご注意ください。
- ・ 付与のタイミングは開催月の月末、ただし7月29日開催分は翌月末。
- ・ ポイント付与に関して個別に通知しません。MY HOPを確認ください。
- ・ 期間中であっても、モニター数が上限に達した場合、募集を終了します。



- ・ 市すこやか生活課・健康推進員と共催
- ・ 昨年はモニターを集いインセンティブ付与による購買変容を分析。
- ・ **参加者は参加頻度が高いほど野菜の購買が上がっているという結果に**
- ・ 現在は市内基幹店舗「モリーヴ」にてベジチェックや血管年齢測定会を3カ月に1回定期開催。

②ベジチェックを活用した自治体連携事例

confidential

■ 長浜市



- ・「ながはま健康ステーション事業」の一環でベジチェックや骨強度測定会を毎月開催。
- ・今年度より木之本店と2店舗展開で実施
- ・より多くの人に啓発をするため、社協や協定企業と連携して集客方法を確立(他健康チェック同時開催)

■ 野洲市



- ・野洲市健康推進課・健康推進員連絡協議会と共催
- ・市内基幹店舗「アル・プラザ野洲」にて3か月に1回開催
- ・ベジチェックだけでなく、食育クイズや乳製品の試食とあわせ「みんなの健康フェア」として、行政以外の地域団体等とも連携して健康促進を図れている

②測定スポット・機会提供による自治体連携事例

confidential

■ 米原市



- ・「米原おいしく減塩プロジェクト」の一環でベジチェックを市内2店舗にて開催
- ・健康推進員による啓発や**減塩レシピ**・**減塩食品の展示**も同時開催
- ・ベジファースト、野菜摂取促進の観点に加え、減塩商品をPRしその場で購入できる導線を作る

■ 湖南省



- ・湖南省と他連携企業による健康づくり事業に協力
- ・市内2店舗に「からだ測定スポット」を常設し、体組成計測定により市独自健康ポイント付与
- ・2店舗では月1回保健師による測定 & 健康相談会を実施
- ・「買い物という日常導線」の中に測定スポットを設置することで、行動変容を促進する

②測定スポット・機会提供による自治体連携事例

confidential

■ 大津市



- ・平和堂坂本店内に地域包括センターがテナント入居
- ・開所式にあわせ、健康しが所属団体が一齐に集い健康フェスタ開催
- ・その後も地域包括センター、近隣薬局、地域健康啓発団体と連携し様々な測定機会を持ち寄り、月1回健康測定会を定期開催
- ・「買い物という日常導線」内に市やかかりつけ薬局の相談窓口がある、ということのPRに繋げている

■ 彦根市



- ・市が委託する健康啓発団体「ひこね元気クラブ21」が月1回ベジチェックを定期開催
- ・血圧計や体組成計の常設スポット隣で実施することで、健康意識のきっかけ作り
- ・リピーターも多く、店内ウォーキングでの歩き方チェック等、その他健康促進にもつなげている

事例紹介③

～移動販売による「地域の健康」

実現取り組み～

③移動販売を活用した自治体連携事例

confidential

■ 甲賀市／長浜市



過疎地域への「移動スーパー」

- ・実施地域：甲賀市42カ所
長浜市51カ所
- ・実施期間：週5回1カ所約20分
- ・利用人数：10～30人/1カ所
- ・内容

買い物難民支援として、生鮮食品・総菜も含め商品200点ほどを積んだ移動販売車を、自治会館等の駐車場に出向き、毎週開催。



<効果>

- ・商品販売だけでなく、**コミュニティの場**となることで、**地域住民の交流の場**、**高齢者の見守り**の一助に
- ・移動スーパー停留所にて行政の健康講座等も開催し、行政サービスの直接支援や関連商品の購入にも繋がっている



事例紹介④

～スポーツ支援を通じた「地域の健康」
実現取組み～

④スポーツ支援を通じた取組み事例

confidential

■ 地元プロスポーツチームとの協力体制



・滋賀レイクス(バスケットリーグ)、東レアローズ滋賀(バレーSVリーグ)、ブルスティックス滋賀(ホッケー1部リーグ)等の県内プロスポーツチームに対するスポンサー支援

・大会冠試合でのチケット販売・物販ブース出店をはじめ、ファン層拡大のため店舗でのPRイベントやチームグッズ販売コーナー等を設置



・地元スポーツチームを応援することで、**市民の健康意識の醸成と子ども達の運動機運を高めていく**

④ スポーツ支援を通じた取組み事例

confidential

■ 地域住民が参加するスポーツ大会への協賛協力



・50回連続「ママさんバレーボール大会」をはじめ、綱引き・マラソン・サッカー大会等の、地域子ども達や住民が参加できる大会等に協賛



・わたしがSHIGA輝く国スポ障スポ2025 ゴールドパートナーとして大会に協力

・大会PR・競技体験会イベントやポスターチラシ掲示等での告知協力をはじめ、リハーサル大会の職員用昼食やスタッフドリンク手配等をサポートし、大会機運醸成をサポート

■ 平和堂総合サービス機能を活用した子ども達の体験



- ・店舗センターコートや旅行センターといった平和堂総合サービス展開を活用し、子ども達への体験機会を提供
- ・滋賀出身元Jリーガーとコラボした店内ストリートサッカーや「夢合宿」活動を展開
- ・親元を離れてスポーツと触れ合う体験、Jリーガーとの直接対決等、子どもの自主性を育む取り組み



- ・びわこ成蹊スポーツ大学「びわスポキッズ」プログラムに協賛
- ・大学生キッズリーダーが、運動・遊びを通じてスポーツに親しむ機会を提供し、子どもの心身の健全な育成と発達をサポート

～今後の展望～

■ 自治体がそれぞれ抱える課題解決に向けた連携

既に取り組んでいるが市民に行き届いていない、効果が見えづらい、、、
そのような課題がある場合、「買い物ついでに気軽に」取組みを行うことが可能です

■ 各自治体が取組んでいる事例の横展開

ベジチェックや店内ウォーキングでのBIWA-TEKUポイント付与等、
横展開事例もございます。

「他市のこの取組みがこの平和堂店舗でも可能か？」等お気軽にご相談可能です

■ 「わたSHIGA輝く国スポ・障スポ2025」に向けた協力

県内全域に店舗があり、各自治体で開催される競技の体験イベント、
リハーサル大会での職員昼食配送等、様々な協力を実施しております。
大会の機運醸成に共に取り組んで参ります。